

第 38 回中山間地域農業直接支払事業懇談会 議事要旨

日時

令和 8 年 8 月 7 日（金）11:00～12:00

場所

長野県庁西庁舎 302 会議室（WEB 併用）

議事 1 令和 7 年度実施状況の点検について

事務局から資料 1 に基づき説明。

主な意見・質疑

中澤委員

- ・ 対策期切替に伴う協定数や参加者数の減少傾向について、今後の見通しを踏まえた対応が必要ではないか。

白石課長

- ・ 地域計画の取組を通じて農地の維持・活用について議論が進められており、市町村と連携しながら農地保全に取り組んでいきたい。

今井委員

- ・ 集落協定参加者数の減少について、過去の対策期移行時にも同様の傾向が見られたのか。

事務局

- ・ 過去の対策期移行時にも同程度の減少が見られた。
- ・ 令和 8 年度に向けた要望調査では協定数や交付面積の増加傾向も見られている。

内川委員

- ・ 協定数減少の要因分析が重要であり、地域や協定の特性を踏まえた分析・対策が必要である。

事務局

- ・ 現時点では詳細な分析は行っていないが、今後必要に応じて、市町村ごとの状況も含めて分析を進めていきたい。

上原委員

- ・ 人口減少が進む中でスマート農業の活用は重要であり、中山間地域に適した機械導入や支援策について検討が必要ではないか。

事務局

- ・ スマート農業機械展示会を開催し、農業者とメーカーの意見交換を実施した。
- ・ 中山間地域に適した機械開発につながることを期待している。

中澤委員

- ・ 地域課題の解決に向けて、地域に直接入り込む支援体制の構築や長野県独自の取組

も必要ではないか。

議事２ 棚田地域振興活動加算の目標について

事務局から資料２に基づき説明。

事務局説明

- ・ 事前意見を踏まえ、棚田地域振興活動加算の目標設定について説明。
- ・ 地域の実情に応じた目標設定が認められており、担い手確保や交流人口の増加、スマート農業導入等、多様な目標が設定されている。
- ・ 定量的な目標設定となっていない協定については修正を依頼している。

※本議題に関する追加意見はなかった。

議事３ 中山間地域等直接支払制度等の見直しについて

事務局から資料３に基づき、国における制度見直しの方向性について説明を行った。

全体を通じた意見交換

羽生委員からの事前意見への回答

事務局

- ・ 中山間地域におけるスマート農業機械の導入状況や、昨年度開催した展示会の成果について説明を行った。
 - ・ 引き続き事例収集や情報共有を進め、省力化に向けた支援を行っていく考えを示した。
-

内川委員からの事前意見

内川委員

- ・ 地域ごとの課題や状況を分析する「集落診断」が必要であり、それぞれの地域特性に応じた支援策を検討すべきである。
- ・ 地域の実情に応じた「長野県方式」の支援の仕組みづくりを期待したい。

白石課長

- ・ 国においてプッシュ型支援やサポート体制の強化が検討されている。
- ・ 県としても地域の実情や特性を踏まえた分析が重要と考えており、国や市町村と連携しながら対応していきたい。

内川委員

- ・ カバー率の向上だけでなく、地域の実情に応じた支援内容の充実が重要である。
-

今井委員

- ・ 長野県独自の中山間地域支援策や、新規就農者・移住者への支援について伺いたい。

白石課長

- 新規就農支援のほか、移住・定住施策についても関係部局と連携して取り組んでいる。
 - 地域振興局等を通じて市町村や関係機関と連携しながら相談対応を行っている。
-

中澤委員

- 中山間地域では生活支援だけでなく産業支援も重要である。
- 地域特性を活かした高付加価値農産物の生産やブランド化、観光との連携を進めるべきではないか。
- 今後は重点的な支援地域を定める視点も必要である。

白石課長

- 次期「食と農業農村振興計画」の検討においても、地域特性を活かした施策や他部局との連携について検討していきたい。
-

以上